UC

図書館利用ガイド

調べものの基本 考図書を活用しよう!

Ukyo Central Library

いろいろな辞典(事典)や図鑑、統計書や白書など、調べものに使う図書のことをまとめて「参考 図書」といいます。ちょっとした疑問から、詳しく知りたいことまで、調べたいときに便利な本が たくさんあります。ぜひご活用ください。

「参考図書」とは?

言葉の意味やある事柄について調べたり、統計を 探したりするときに使う図書のことを「参考図 書」または「レファレンス・ブック」といいます。

辞典・事典、図鑑、年鑑、統計書、白書、地図な ど、最初から最後まで通して読むものではなく、 必要なときに必要な項目だけを参照する図書のこ とです。

レファレンス (Reference) …参考・ 参照という意味があります。図書館では、 調べもののお手伝いをする「レファレン ス・サービス」を行なっています。資料 の探し方や、参考図書の使い方などお気 軽におたずねください。

おもな「参考図書」の種類



※「辞典」と「事典」…ことばや字を調べるものを「辞典」、ことが らについて調べるものを「事典」といいます。



「参考図書」はどこにあるの?

OPAC(図書検索機)で検索したときに、請求記号 に "R"と付いていて、所蔵場所や資料区分が"参 考"となっている資料が「参考図書」です。

右京中央図書館では、京都大百科事典ゾーンに参考 図書コーナーがあります。

参考図書は、調べたいときにいつでも使えるように、 貸出ができません。館内でご利用ください。

2024年3月改訂

見坊 奈紀/編 市川 孝/編 飛田 良文/編 川崎 誠/編 飯間 浩明/編 塩田 雄大/編

見坊 豪紀 /橘, 市川 孝 /縄, 飛田 良文 /縄, 山崎 越 /縄, 飯間 浩明 /縄, 塩田 雄太 /縄

利用可



著者など

三省堂

おすすめ「参考図書」

☆レファレンス担当者がよく使う「これは便利!」な参考図書を、 ほんの一例ですがご紹介します。

♥「○○」について調べたいけれど、「○○」が何のことかよくわからない。どうやって調べたら?

| | 書名 | 出版社 | 請求記号 | おすすめポイント |
|---|-------------------|-------|------------|---|
| _ | 『世界大百科事典』 全31巻 | 平凡社 | R/031/t | 百科事典は、調べもののとっかかり (ヒント)が欲しいときに便利です。 |
| | 『国史大辞典』 全15巻 | 吉川弘文館 | R/210.03/] | 古代〜昭和(一部平成もあり)までの日本に関する、人物・できごと・地理・美術などあらゆることがらを調べることができます。"日本のこと"について調べたいときに便利です。参考文献も充実しています。 |

オンラインデータベース^へ で検索できる百科事典があ ります。

『日本大百科全書』など を検索できる 「JapanKnowledgeLib」

IJapanKnowledgeLib_ をご利用いただけます。

詳しくは図書館利用ガイド「使ってみよう!オンラインデータベース」をご覧ください。

❷絵画や彫刻などの美術作品を見たいが、載っている美術全集をどうやってさがしたら?

| 書名 | 内容 | 出版社 | 請求記号 | おすすめポイント |
|----------------------|---|--------------|-----------|---|
| 『日本美術作品 レファレンス事典』 | 絵画篇/書跡篇 陶磁器篇 彫刻篇/工芸篇 建造物篇 など | 日外 アソシエーツ | R/702.1/I | 美術作品の図版を収録している全 集名と掲載されているページを調 べることができます。 作品名からでも、作者名からでも 探すことができます。 |
| 『西洋美術作品 レファレンス事典』 | 絵画篇 版画·彫刻·工芸·建 造物篇 など | 日外 アソシエーツ | R/703.1/t | |
| 『美術作品 レファレンス事典』 | 先史・古代美術 人物・肖像篇 国宝・重文篇 仏画・曼荼羅・仏具・寺院 刀剣・甲冑・武家美術 | 日外 アソシエーツ | R/703.1/Ľ | |

[ほかにも…]

- ★地名について調べるときには『日本歴史地名大系』(平凡社)[R/291/二]、『角川日本地名大辞典』(角川書店)[R/291/加→都道府県別。地名だけでなく、山や川、寺社や史跡などについても調べることができます。
- ★『理科年表』(丸善)[R/403.6/]] ⇒毎年刊行。各地の気象、日出入や潮の干潮などの暦、世界のおもな山・川・湖などのデータなど、理科系の情報を得たいときに便利です。

「参考図書」を使いこなそう!



【索引を使う】

多くの参考図書には「索引」が ついています。 調べたい項目が本文の見出し語 にみつからなかったとください。 「索引」をひいてみてくださる。 その項目について記述がある。 そころを探すことができます。 見出し語にある項目で、ほかに も関連のある記述を探すことが できます。

【凡例(はんれい)を読む】

参考図書を使っていて、書かれている略語や記号などの意味、その図書の使い方がわからないとさは、図書のはじめに書かれている「凡例」を読んでください。 資料の編集方針や使い方、記号などの読みかたの解説がしてあります。

【参考文献でさらに詳しく】

参考図書に書かれているのはほとんどの場合、その項目についての簡潔な説明です。

明です。 さらに詳しく知りたい・調べたいとき は、その項目の最後に紹介されている 「参考文献」にあたってみてください。

【複数の参考図書を使う】

同じことがらを調べても、資料によって記述のしかたやデータが異なることがあります。複数の資料を使って比べてみてください。